

SARAが継続できないことによる影響

NPLサイトの選定

EPAは新規のNPLサイトをできるだけ増やさないようにすることで、NPLサイトに入るべきサイトが入らなくなっている

NPL登録

浄化工事開始

NPLサイトに対する汚染浄化工事のSlowdown

NPL新規登録数の例

1982～1985の間(CERCLAの時期): 毎年平均109件

1986～1999の間(SARAの時期と一般税の割合の変動がない時期): 毎年平均64件

2000～2003の間(一般税の割合が約半分の時期): 毎年平均27件

2004～2008の間(一般税のみの時期): 毎年平均14件

汚染浄化工事のSlowdownの例

NPLサイト数(2008年5月時点): 1,225サイト(うち、1,033サイトが浄化完了)

しかし、汚染浄化工事の数が2000年以降以下のように激減

1997～2000の間: 毎年平均87件

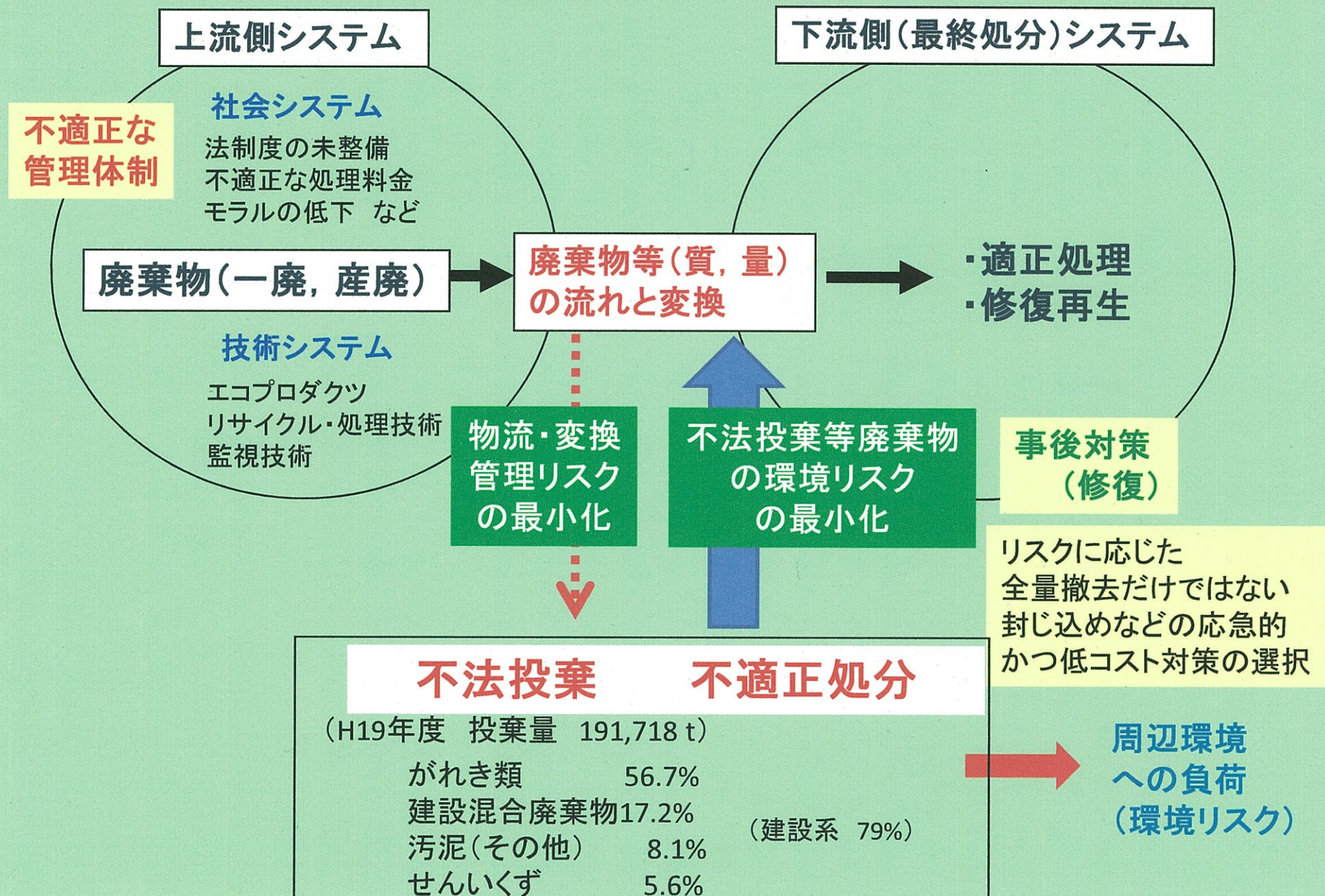
2002年: 42件

2003年～2004年: 毎年平均20件

2005年: 16件

2006年～2008年: 毎年平均22件

循環型社会における不法投棄対策



循環型社会の物流・変換システムの再構成

上流側システム

下流側システム

